



## 「 FiシステムECU スタートアップマニュアル 」

このたびは、Fiシステムフルキットをご購入頂きましてまことにありがとうございました。  
とりつけから、エンジンをかけるまでの流れをご説明します。

### 「 ECUの取り付けと調整 」

- (1) 車両にECUおよび配線(ハーネス)を取り付けます。  
(「ハーネス接続の手引き」をご参照ください。電源はヒューズを介して取り付けてください。)
- (2) イグニッションスイッチをオンします。取り付けに異常がなければ、ボンブが間欠で駆動され、ECUは準備が整うと、ダイヤルコントロールのランプを点灯します。
- (3) スターターもしくはキックペダルで回転を与えると、点火信号からインジェクション用の信号が生成され、ECUに入力されます。このときダイヤルコントロールのランプが入力毎に点灯と消灯を繰り返します。ランプが点灯しない場合は、点火がされていないか、ユニットなどの接続に問題があると考えられます。
- (4) ここで、スロットルボディのスロットルセンサの調整とECU内の噴射設定をインジェクタ容量にあわせませす。パーソナルコンピュータにSettingWorkbench (SWB)をインストールし、通信ケーブルでECUと接続してください。SWBを起動しECUから噴射設定を読み込んでください。  
(ここで変更前の設定をファイルに保存していただくと、やり直しが可能です。)

お客様のスロットルボディは \_\_\_\_\_ mm 直径で \_\_\_\_\_ cc/min \*1 のインジェクタが取り付けられています。

スロットルセンサの調整は、マニュアルの「取り付けに伴う設定、調整作業」の章をご覧ください。  
26mm のスロットルボディのセンサ範囲は(1 - 254) ですので、スロットルを全開にした状態で、デュータモーターによる読み取り値(一番左の数値)が254 になるように、スロットルセンサの取り付けねじを緩めて、ボディに対して回転させてください。

インジェクタの容量はECU内に記録していますが、これとおお客様のインジェクタの容量が異なる場合、また初期に記録されている噴射制御マップの排気量が異なる場合は、以下の式で求められる数値分、全体を定数倍してお使いください。

お客差様のECU内に記録されているマップは

インジェクタ容量 \_\_\_\_\_ cc/min 排気量 \_\_\_\_\_ cc \*2 のマップです。

定数 = 初期マップのインジェクタ容量\*3 ÷ \*1 (出荷したインジェクタの容量)  
× \*(お客様エンジン排気量) ÷ 初期マップの排気量\*2

定数倍の方法につきましては、マニュアルの「基本噴射時間を変更する」の中の **スロットル開度領域毎に定数倍する方法** の項目をご覧ください。



「エンジンをつける」

- (1) ここでエンジンをかけましょう。燃圧が2.5kgf/cm<sup>2</sup>付近になっていること、信号入力毎にランプが点灯、消灯を繰り返していることを確認してください。
- (2) かかりましたでしょうか？
- (3) 燃料が濃かったり、薄かったりするとなかなかかかりません。ダイヤルを回してみて再挑戦してください。  
燃料配管中に空気が入っていますとなかなかかかりません。エア抜きを行ってください。
- (4) アイドル時にダイヤルをリッチ、リーンに回してみてください。もっともエンジン回転があがるところが空燃比12付近です。スロットルボディのアイドルスクリューとSWBでアイドル回転を調整してください。
- (5) ここからはエンジンに合わせて噴射設定を変えていく作業になります。  
出荷時の設定がお客様のエンジンの仕様に合っていれば、ほぼ走行が可能だと思います。  
細かくあわせていくと、エンジンはだんだんよくなってきます。  
この作業に空燃比センサがあると非常に便利です。
- (6) それではF1システムをお楽しみください。

商品の不良、ご質問等は下記までお問い合わせください。

FCデザイン

〒735-0006 広島県安芸郡府中町本町2-1-48

Tel:(082)287-0211

Fax:(082)287-0212

Mail:info@fc-design.com